

地域福祉と包括的支援体制A

科目コード

CC3097



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
2	R or SR(講義)	2年以上	都築 光一

※会場によりスクーリングを別教員が担当します（東京：柴田邦昭先生、札幌：齋藤征人先生）。

科目の概要

■科目の内容

これまでの歴史的経緯を踏まえ、地域共生社会を含む福祉コミュニティの構築に向けた地域住民等や地方公共団体並びに関係機関の役割を理解し、人々の繋がりや地域社会の機能力が脆弱化してきていると指摘されている今日、地域福祉実践の理論と実際を理解し、具体的に実践するための手法を学びます。

具体的には、東北を中心とした各地域における様々な実践事例や、エピソードなどを交えて、地域福祉の基本的な考え方と、その考え方が具体的な実践でどのように活かされているのか講義を通じて紹介します。

これらの事例等を通じて、地域福祉の実践によってどのような効果や成果が望まれているのか等に関し、地域住民が取り組む意義と、地域福祉実践が絶えず動的に展開される必要性について理解を深めます。

【教員等の実務経験による指導内容】

役場職員、社会福祉協議会理事などの実務経験をいかし、地域住民による福祉コミュニティの形成、それに向けた支援活動と地域福祉の展開技法および社会資源の活用方法等について、具体的な事例等を交えて解説する。

■到達目標

- 1) 地域福祉は、地域住民等が推進主体であることを説明できる。
- 2) 地域福祉は、福祉コミュニティ実現に向けた実践であることを説明できる。
- 3) 地域福祉実践のために、包括的な支援体制を含む人的社会的資源のシステム形成の必要性を説明できる。

■教科書（「地域福祉と包括支援体制B」と共通）

都築光一著『福祉ライブラリ 現代の地域福祉（第2版）』建帛社、2022年

（最近の教科書変更時期）2023年4月

（スクーリング時の教科書）【各会場共通】上記教科書は必ず持参してください。旧教科書を所持している場合でも受講に支障がないよう資料などを配付します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「他者配慮表現力」「自己コントロール力」「問題解決力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%+スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■参考図書

- 1) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 [共通科目] 6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規出版、2022年
- 2) 野口定久著『人口減少時代の地域福祉』ミネルヴァ書房、2016年
- 3) 平野隆之著『地域福祉推進の理論と方法』有斐閣、2008年

スクーリング

▶仙台・オンデマンド開講分 都築 光一

■スクーリングで学んでほしいこと

地域福祉の主体は、あくまでの住民主体です。地域住民が主体となって福祉コミュニティづくりを進めていけるように支援するための基本的な考え方と、具体的な実践手法について事例を交えて解説します。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	地域福祉の概念と理念	住民自治・福祉コミュニティ
2	地域福祉とは	概念・定義
3	地域福祉の原理と実践	住民主体、地域性、人的社会的資源
4	地域福祉の歴史（欧米編）	デンマーク、イギリス、アメリカ
5	地域福祉の歴史（日本編）	日本における地域福祉のあゆみ
6	社会福祉協議会	社会福祉協議会の概要、歴史、現状、課題
7	福祉行政	国と市町村の福祉行政の仕組み、特別地方公共団体
8	福祉財政	福祉関係の一般会計、特別会計、寄付金その他
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

教科書を用いながら、配付資料をもとに板書もしながら進めます。

■スクーリング 評価基準

とくに到達目標記載内容についての理解を問います（教科書および自筆のノートのみ持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書の第1章・第2章は読んできてください。

▶東京開講分 柴田 邦昭

■スクーリングで学んでほしいこと

地域福祉の定義や概念を理解するとともに、地域福祉の歴史的な経過や地域福祉の基本について学びます。地域福祉の主体は、あくまでも住民主体です。地域住民が主体となって福祉コミュニティづくりを進めていけるように支援するための基本的な考え方と、具体的な実践手法について事例を交えて解説します。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	地域福祉の概念と理念	住民自治・福祉コミュニティ
2	地域福祉とは	概念・定義
3	地域福祉の原理と実践	住民主体、地域性、人的社会的資源
4	地域福祉の歴史（欧米編）	デンマーク、イギリス、アメリカ
5	地域福祉の歴史（日本編）	日本における地域福祉のあゆみ
6	社会福祉協議会	社会福祉協議会の概要、歴史、現状、課題
7	福祉行政	国と市町村の福祉行政の仕組み、特別地方公共団体
8	福祉財政	福祉関係の一般会計、特別会計、寄付金その他
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

教科書をわかりやすくパワーポイント資料にまとめ、それを配付し講義を進めます。

■スクーリング 評価基準

とくに到達目標記載内容についての理解を問います（教科書および自筆のノート、配布資料のみ持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書の第1章・第2章・第3章は読んできてください。

▶札幌開講分 齋藤 征人

■スクーリングで学んでほしいこと

- 1) 地域福祉の基本的な考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂などを含む）を説明できる。
- 2) 地域福祉に係るさまざまな社会資源について解説できる。
- 3) 自らの居住地域において地域福祉を推進する「主体者」として、どんな地域コミュニティを構想するかを具体的に論述することができる。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	地域福祉の見方・考え方①	コミュニティの定義・条件・分析枠組み
2	地域福祉の見方・考え方②	地域福祉の主要な理論・概念
3	地域福祉に係る組織や団体	社会福祉協議会、民生・児童委員
4	地域福祉に係る新たな専門職の役割とその実際	生活支援コーディネーター、協議体
5	地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法	つどい、見守り活動
6	地域福祉におけるネットワーキングの実際	地域の生活ニーズ調査、ワークショップ
7	地域福祉の支援体制	地域包括ケアシステム、生活課題の多様化
8	地域共生社会の今後の展望	福祉コミュニティ、地域共生社会
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング 評価基準

とくに「スクーリングで学んでほしいこと」についての理解を問います（教科書・配付資料、自筆ノートの持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書の「第1章 地域福祉とは何か」「第4章 住民主体の地域福祉活動」「第7章 地域福祉の支援体制」「終章 住民主体の地域福祉推進に向けて」を一読して受講されてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

スクーリング受講後、教科書の該当頁を再読されてください。

レポート学習

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	地域福祉を学ぶ (序章)	地域福祉を学ぶことの現代的意義について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・今地域福祉を学ぶ意義の理解 ・地域福祉の具体的な展開の意味を理解する
2	地域福祉の理念 (第1章)	地域福祉の理念としての住民自治と福祉コミュニティを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の基本としての住民自治 ・社会福祉のコミュニティ論としての福祉コミュニティ
3	地域福祉とは (第1章)	地域福祉の定義を理解する	地域福祉とは、地域住民等が、人的社会的資源を活用して、福祉コミュニティ構築を目指す、実践をいう。
4	地域福祉の原理と実践 (第1章)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体・地域性・人的社会的資源の意味を理解する 	以下の3点について理解する <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉における住民の主体性の原理 ・内発的発展と地域性の原理 ・人的社会的資源のシステム形成の原理
5	外国における地域福祉のあゆみ (第2章)	<ul style="list-style-type: none"> ・デンマーク ・イギリス ・アメリカ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践理念としてのノーマライゼーション ・地域福祉の精度のあゆみ ・ソーシャルワーク理論の発展
6	日本における地域福祉のあゆみ 1 (第2章)	第二次世界大戦までの日本の地域福祉のあゆみを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末まで……国家としての取り組みのない時代 ・明治～大正期…地域福祉の萌芽期 ・大正～終戦期…停滞期
7	日本における地域福祉のあゆみ 2 (第2章)	戦後の制度構築期からこんにちまでのあゆみを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後～2000年…地域福祉模索期 ・2000年～……地域福祉形成期
8	地域社会と最近の動向 (第2章)	日常生活課題と地域共生社会について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する生活問題 ・地域共生社会の実現
9	社会福祉協議会 1 (第3章)	社会福祉協議会の存在意義とこれまでのあゆみを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の背景と機能 ・わが国における社会福祉協議会の歴史
10	社会福祉協議会 2 (第3章)	社会福祉協議会の法的規定と市区町村社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の法的根拠（社会福祉法） ・市区町村社会福祉協議会
11	社会福祉協議会 3 (第3章)	都道府県および全国社会福祉協議会と今日の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県社会福祉協議会 ・全国社会福祉協議会 ・社会福祉協議会の今日の課題
12	社会福祉行政 1 (第5章)	福祉行財政の原則と原則	社会福祉法と地方自治法の2つの法令から理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉行政と財政 ・行政運営の原則
13	社会福祉行政 2 (第5章)	福祉行財政のあゆみと構造	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後における福祉行財政のあゆみ ・福祉行財政の構造
14	社会福祉行政 3 (第5章)	福祉行政機関と組織	<ul style="list-style-type: none"> ・国・都道府県・市町村における福祉行政機関 ・多様な行政機関の組織

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
15	社会福祉行政 3 (第5章)	行政の展開過程と財政	<ul style="list-style-type: none"> ・行政実務の種類 ・行政実務の意思決定過程 ・財政の仕組み

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	今日の地域社会の状況を踏まえつつ、住民主体にて福祉コミュニティの構築を目指して実践する意義について、市町村社会福祉協議会の役割を軸に説明しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

地域福祉の制度と、地域福祉に関する理論等に関し、テキストをよく読んで確認して解答してください。



教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。



内容的には、社会福祉法第4条と社会福祉法第109条を軸に、地域福祉の定義に照らしてまとめていくと良いでしょう。

科目修了試験

■評価基準

地域福祉の定義に照らし、地域住民、福祉コミュニティ、人的社会的資源の活用、実践の各項目のいずれかが欠落している場合は、説明していることにはならないので、注意しましょう。